



第6789回 現場KAIZEN発表大会実施報告

1. 大会概要（主催：QCサークル長野地区中信ブロック）

開催日時：2026年7月24日（金） 12：30～16：15
場所：豊科公民館 ホール
内容：小集団改善活動発表大会と講演会の開催
目的：他企業の改善事例から活動の進め方や人材育成のヒントを得る、
また問題解決に必要な原因追及手法を学ぶ
出場サークル数/参加者数：4サークル（4社）/145名（26社）



2. 発表大会

参加各社による日頃の改善活動成果の発表に対し、質疑応答では多くの質問が寄せられ、聴講者の関心の高さが窺えました。
大会賞を受賞した2サークル（SGH部門は富士電機株式会社松本工場ハイブリットサークル、JHS部門はセイコーエプソン株式会社Violet Guardians サークル）につきましては2026年11月11日開催予定のQCサークル長野地区チャンピオン大会に出場いただくことが決定しました。

改善事例発表サークル/発表内容

■部門《 製造・技術・品証（SGH） / 事務・販売・サービス（JHS） 》

発表順	部門	会社名	サークル名	テーマ名	賞名
1	SGH	株式会社アズミ村田製作所	工程よくし隊2nd	外選工程における労働生産性の向上	優秀賞
2	SGH	富士電機パワーセミコンダクタ株式会社大町工場	ジェネレーションズ	車載モジュールパワーセルチップ下ボイド不良の低減	優秀賞
3	SGH	富士電機株式会社 松本工場	ハイブリット	検査工程におけるチップ表面キズ不良率の低減	大会賞
4	JHS	セイコーエプソン株式会社 広丘事業所	Violet Guardians	その一瞬が未来を守る。初期消火、全員習得！	大会賞

3. 特別企画

＜講演テーマ＞ 数を読む、グラフを読む、データサイエンスへのいざない

信州大学 鈴木治郎 教授をお招きし、標題のテーマについて ご講演いただきました。コンピュータ利用の浸透に伴い世の中には数値情報やグラフ情報があふれかえるようになりました。「数値は桁数が多い方が正確なの？」とか「グラフは色分けすると読みやすいの？」などの問題にダメ回答の事例がマスコミ報道でもたくさんあります。本講座は、そんな数値情報の正しい読み方を考える、全ての方を対象とした講座でした。

4. 開催風景

表彰式後の記念撮影



講演中の鈴木教授

